

2024年7月1日
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Fukuoka Branch

九州・沖縄の金融経済概況

(2024年6月)

当資料は当店ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/fukuoka/>

<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行福岡支店営業課 Tel : 092-725-5513



1. 総論

○ 九州・沖縄の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。公共投資は、増加している。設備投資は、高水準で推移している。住宅投資は、弱含んでいる。輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。

こうした中で、生産は、このところ弱めの動きとなっている。雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

6月短観における企業の業況感は、幾分悪化したものの、全体として良好な水準を維持している。

先行きについては、海外の経済・物価動向、コスト高とその波及、労働需給と雇用者の所得形成などが、当地の経済・金融情勢に与える影響に留意する必要がある。

<景気判断の前回との比較>

項目		基調判断	
		前回	今回
景気全体		一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。	一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。
需要項目	個人消費	物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。	物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。
	住宅投資	弱含んでいる。	弱含んでいる。
	公共投資	増加している。	増加している。
	設備投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
	輸出	横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。
生産		このところ弱めの動きとなっている。	このところ弱めの動きとなっている。
雇用・所得		緩やかに改善している。	緩やかに改善している。

2. 個人消費

- 個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店売上高	緩やかに回復している。
	スーパー売上高	底堅く推移している。
	コンビニエンスストア売上高	堅調に推移している。
耐久消費財	家電販売	弱めの動きとなっている。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	持ち直しの動きがみられている。
サービス	旅行・観光	ペースは鈍化しているが、増加している。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、弱含んでいる。

4月の新設住宅着工戸数は、給与住宅の増加を主因に前年を上回った。

4. 公共投資

- 公共投資は、増加している。

5月の公共工事請負金額は、市町村発注分が増加した一方、国発注分等が減少したため、概ね前年並みとなった。

5. 設備投資

- 設備投資は、高水準で推移している。

4月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を上回った。

6月短観（九州・沖縄地区）における2024年度の設備投資（除く電気・ガス）は、前年を上回る計画となっている。

6. 輸出

- 輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。
5月の輸出額（九州経済圏）は、前年を上回った。

7. 生産

- 生産（鉱工業生産）は、このところ弱めの動きとなっている。

▽主要業種の生産動向

輸 送 機 械	自動車は、一部の工場稼働停止などの影響から、このところ減少している。船舶は、増加している。
電子部品・デバイス	在庫調整の影響がみられているが、全体としては高水準で推移している。
汎用・生産用 ・業務用機械	持ち直している。
化 学	低水準で推移している。
鉄鋼・非鉄金属	横ばい圏内の動きとなっている。
食 料 品	減少している。

8. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。
労働需給をみると、有効求人倍率は高水準で推移している。
3月の雇用者所得総額は、常用労働者数の増加により前年を上回った。

9. 物価

- 5月の消費者物価（九州地区、生鮮食品を除く総合）は、前年比+2.6%となった。

10. 金融

- 4月の預金残高をみると、法人預金や個人預金を中心に前年を上回った。
- 4月の貸出残高をみると、法人向けや個人向けを中心に前年を上回った。
- 企業倒産は、低水準ながらも、このところ増加している。
5月の企業倒産をみると、件数・負債総額ともに前年を上回った。

以 上